



K.G.H. REVIEW

発行 関西学院高等部
所在地 〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原

院長メッセージ

愛のまなざしに支えられて

— I shall be constantly watching. —

関西学院 院長 舟木 讓



の担当監督の重責も担われました。亡くなる前年、中国で起こった飢饉の調査とその対応にあたられた後、シベリアへの宣教活動を開始、その帰国途中、日本に立ち寄られ、亡くなる際に残された言葉が、"I shall be constantly watching."です。人生の最後まで世界への実質的な貢献と宣教活動を続けられたランバス先生の生涯を、J.C.C. ニュートン第三代会長は次のように評されました。

新型コロナウイルス感染症が世界全体に大きな影響を及ぼし、さまざまな形で犠牲者が出る日常が二年以上にわたって継続しています。高等部もこれまで経験したことのない状況への対応に、思いを一つにして尽力されています。そこで、そうした歩みが続く中で、世界全体が真に平和で豊かになるためには、世界に存

在するすべての人の命が等しく守られなければならないことが浮き彫りとなりました。自らの命に丁寧に向かい合うことで、他者の命に対するまなざしも丁寧なものとなるという言葉を、高等部で日々歩み続けている方々も実感されていると思います。

関西学院の創立者は、生涯にわたり、世界の人々を等しく愛し、その愛に基づいた行動を亡くなる直前まで実践されました。さらにその愛のまなざしの中に、高等部をはじめ関西学院に連なるすべての人々があるということに今改めて気づきたいと思えます。

現在、自由に留学をしたり、留学生を迎えたりすることができない状況の中にもありますが、NOMをはじめとしたツールの活用によって、世界が新たなつながりを持ち、まさに「人種、国籍、宗教」などの壁を越えて人々が向かい合うことが可能な時代になりました。高等部で学びまた



理科部 県総合文化祭を終えて

部長 三年一組 伊藤 暁

今年度、私たちは県総合文化祭自然科学部門において、口頭発表で生物分野最優秀賞を、ポスター発表で優秀賞を取り、来年度に東京で開催される全国大会への出場を決めました。



うドジョウの仲間について、過去の先輩方の研究を受け継いで活動してきました。近畿地方には二種類のシマドジョウ類が生息しています。しかし、どこを境界に棲み分けが起きていないか、どこで交雑しているのかなど、二種類の関係はよくわかっていませんでした。そこでそれについて、DNAの分析をしたり、関西学院大学生命環境学部へ実験をさせてもらいにいたりしながら、研究しました。研究発表を完成させるまでには、実験がうまくいかなかったり、普通では考えにくい結果が出たりと、様々な困難がありました。しかし、後輩が夜遅くまで頑張ってくれたり、先行研究について調べて面白い考察をしてくれたりしたおかげで、研究発表を成功させることができました。

ハーモニカ

二〇二二年一月 全日本ハーモニカ演懐コンクール 二位

審査員特別賞

二年F組 熊谷 みら

私の吹くハーモニカはクロマチックハーモニカとい

ます。レバー操作で音を半音変化させることができるので、六オクターブの音域が出せます。楽器は小さいですが、表現の幅の広い楽器だと思います。西日本大会では、MISAの「エプリング」を演奏しました。MISAの息の回し方にヒントを得て、ハーモニカの吹き吸いを工夫しました。演懐コンクールでは、ピブラートや息の混ざり具合で泣きを入れるなど、演歌歌手の様々な技を徹底的に研究しました。次の挑戦は、今年六月に行われる全国大会決勝ライブのジャズ&ポップス部門とクラシック部門、そして中国で開催されるアジア太平洋ハーモニカ大会です。予選を通過してファイナルのステージで演奏したいと思っています。

「52ヘルツのクジラたち」という本は、誰にも自分の声を届けることができない、孤独な人にスポットをあてた作品です。とても悲しくて、残酷な物語であるものの、人が持つあたたかさを様々な登場人物、様々な場面で感じることもできました。悲しくもなるし、あたたかい気持ちにもなる、不思議な感覚を抱かされます。

直接声が届かなくても、身近な人の助けを求めているサインは外見、言動、雰囲気など色々あると思います。52ヘルツのクジラの声、孤独を感じている人々の声を聞いてあげられる人になりたいと思います。

これは今シーズンの大きな目標のひとつとして掲げていたので、とても嬉しく思います。一方で一五〇〇mでは思うような結果を出せず、あらためて課題も浮き彫りになりました。今シーズンは残りの大会で上位に入れるように全力を尽くし、また来シーズンの世界ジュニア日本代表の正選手にふさわしい活躍を期待しています。後輩に声をかけてほしい。高等部の伝統の火を絶やさない。小さなことでも大切なお願いである。

サッカー部 54年振りのインターハイ出場

主将 三年G組 東 昂希



我々サッカー部は、五十四年振りにインターハイに出場することができました。新チームになった一昨年の十一月頃から全国大会出場を目指していましたが、新人戦で

水泳部 全国インターハイ出場

二年E組 橋本 夏菜恵



私は、昨年八月に長野県で行われた全国高等学校総合体育大会水泳競技大会において一〇〇m自由形に出場しました。二〇二〇年度のインターハイはコロナウイルスの影響により通信大会という形になってしまったため、高校生になってから初めて、会場の雰囲気を感じながらの全国大会

でした。緊張や不安から自分の全力を発揮することができず、自己ベストを更新することはできませんでした。同じ兵庫県から出場した選手が活躍しているのを見て刺激を受け、とても良い経験となりました。このような状況下で開催して頂いたことに感謝の気持ちを持たずに、更にレベルアップした状態で来年度のインターハイに臨めるようこれから練習も頑張ります。

ダンス部 夢の舞台

主将 三年A組 森本 依里亜

二〇二一年度は史上初となる日本高校ダンス部選手権DANCE STADIUM夏の公式全国大会 全国決勝大会出場を果たしました。他にも全日本高等学校チームダンス部選手権 全国決勝大会 動画部門 準優勝を果たすことができました。昨年に引き続き今年度もダンス部の応援よろしくお祈りします。

今起こっている児童虐待、DV、LGBTなどの社会問題

卒業したら、学校の伝統を引き継ぐものはいなくなる。全

は悔しい結果に終わり、新チームの未熟さを感じました。その反省をインターハイに活かすために、今まで行っていたなかったミーティングを盛んにし、練習でもお互いを高め合うような質の高い練習を続けました。全国大会に出場したいという強い気持ちを全員が持ち続けたおかげで、決勝戦を迎えることができました。決勝戦の相手は県のリーグ戦で負けてしまっていた報

徳学園との試合でした。その相手にリベンジをするという思いが強く、後半終了間際のコーナーキックから得点することができ、劇的な勝利を収めて優勝することができました。全国大会では惜しくも二回戦で大阪桐蔭に負けてしまいましたが、様々な方々のサポートのおかげで全国大会を経験できたことを部員一同心から感謝しています。

大大会もありました。しかし、どんな時もくじけず部員全員部活外の時間もダンスと向き合ってきました。沢山の方々の支えがあり、ずっと目標に掲げていたDANCE STADIUMの全国の舞台の切符を手にし、練習してきたことを全力で出し、悔いの残らないよう作品を披露することができました。この経験から学んだことを今後に繋げていければと思います。応援ありがとうございます。来年度もダンス部の応援よろしくお祈りします。

少人数の叫び 第41回全国高校生読書体験記コンクール 入賞を経て

三年E組 中江 勇斗

スケート 第41回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会(JOC)

二年C組 三好 瑛久

今回のJOCでは得意の一〇〇〇mで三位になり、五〇〇m、一五〇〇mを含む

三種目の総合で六位に入賞する事ができました。また、この結果も踏まえて三月にポランドで開催される世界ジュニア大会日本代表の補欠メンバーにも選出されました。

「コロナ禍が続いている。三年生諸君、卒業おめでとう。今年もコロナ禍の卒業式となった。君たちは「コロナ二期生」である。ほんと大変でしたね。」

文化祭

高等部の文化祭は「自由と自治」を最も体現した行事です。生徒が主体となって展示や企画を創り上げ、その成果を来場者へ届けた方々に見ていただいています。しかし、最終的には今年度も「校内限定公開」という形の進行となりました。二年目ということもあり、今年度は昨年よりもパージョンアップした文化祭にしようと決めました。昨年の反省や皆の意見を活かして企画の整理や改善、様々な工夫や新しい試みを行いました。今年度は新しいことへ挑戦した一年となりました。しかしその中でも、ペンキの清掃の手伝いをしたりクラスの巡回をしたりといった従来の活動も手を抜かず行いました。



では、「Overcome」をスローガンとして掲げられました。このスローガンには、コロナの状況下で情勢に負けず自分たちの個性・力で打ち勝ちたいという思いが込められています。この一年、様々な困難にぶち当たりましたが、その中でも自分たちの力を発揮した生徒の皆さん、各クラスを引っ張ってくれた文化祭委員、生徒を支えてくださった教職員の間、運営に尽力してくれました。

文化祭執行委員など、多くの人々のおかげで文化祭を開催することができました。皆が一丸となって困難を乗り越えることができました。正に「Overcome」を体現した文化祭になったと思います。このような素晴らしい文化祭を創り上げた全ての方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。

文化祭執行委員など、多くの人々のおかげで文化祭を開催することができました。皆が一丸となって困難を乗り越えることができました。正に「Overcome」を体現した文化祭になったと思います。このような素晴らしい文化祭を創り上げた全ての方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。

文化祭執行委員など、多くの人々のおかげで文化祭を開催することができました。皆が一丸となって困難を乗り越えることができました。正に「Overcome」を体現した文化祭になったと思います。このような素晴らしい文化祭を創り上げた全ての方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。

コロナ禍での文化祭

今年度の文化祭は昨年引き続き多くの変化がありました。昨年度は突然のコロナ禍に対してできることをできるだけ行うという姿勢で様々な企画を行ったのですが、結果的に企画が飽和し運営側以上に参加者が疲れているといった状況が発生したことを問題視し、企画やルールを大幅に整理しました。特に大きな変化は礼拝堂や中庭での企画でした。礼拝堂での企画に関しては、本格的な配信を前提として委員会に専門の高度な技術を持つ生徒を集めた部署を作り企画運営に参画させました。中庭での企画は人が集まることを避けるために別の場所で行うなどし、密を避けるというのを念頭に整理を行いました。どの企画においても例年通りでも昨年クラス旗という印象を持つ方

クラス旗

今年度関西学院高等部文化祭に引き継がれた中庭のクラス旗展示でしたが、今年度は、校舎に入った瞬間から校舎に広がる文化祭の雰囲気を感じることができました。エントランス設置を行いました。関西学院高等部の文化祭といえば、中庭に広がる文化祭という印象を持つ方

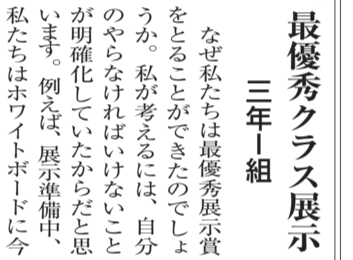
今年度関西学院高等部文化祭に引き継がれた中庭のクラス旗展示でしたが、今年度は、校舎に入った瞬間から校舎に広がる文化祭の雰囲気を感じることができました。エントランス設置を行いました。関西学院高等部の文化祭といえば、中庭に広がる文化祭という印象を持つ方



今年度関西学院高等部文化祭に引き継がれた中庭のクラス旗展示でしたが、今年度は、校舎に入った瞬間から校舎に広がる文化祭の雰囲気を感じることができました。エントランス設置を行いました。関西学院高等部の文化祭といえば、中庭に広がる文化祭という印象を持つ方

校内ステージ・後夜祭

今年度の校内ステージでは授業や部活動、有志団体による舞台発表を行いました。また昨年度は残念ながら中止となっていた「後夜祭」を復活させチャペルにて行いました。入場者数や出演団体にも制限があり、文化祭直前まで様々な変更や規模の縮小を余儀なくされました。しかし、そんな状況下でも出演者や司



今年度の校内ステージでは授業や部活動、有志団体による舞台発表を行いました。また昨年度は残念ながら中止となっていた「後夜祭」を復活させチャペルにて行いました。入場者数や出演団体にも制限があり、文化祭直前まで様々な変更や規模の縮小を余儀なくされました。しかし、そんな状況下でも出演者や司

ライブ配信

今年度は新型コロナウイルスの影響でチャペルに全校生徒を入れられず、開会式や校内ステージ、後夜祭などのイベントをライブ配信で行うことになりました。技術サポートを行うために文化祭執行委員に呼ばれました。二年生はライブ配信での鑑賞となったので、私は配信でも楽しめるようにクオリティの高

今年度は新型コロナウイルスの影響でチャペルに全校生徒を入れられず、開会式や校内ステージ、後夜祭などのイベントをライブ配信で行うことになりました。技術サポートを行うために文化祭執行委員に呼ばれました。二年生はライブ配信での鑑賞となったので、私は配信でも楽しめるようにクオリティの高

最優秀クラス展示

なぜ私たちが最優秀展示賞をとることができたのでしょうか。私が考えるには、自分のやらなければいけないことが明確化していたからだと思います。例えば、展示準備中、私たちがホワイトボードに今日やらなければいけないことのリストを作りました。それを見て、なかなか準備に参加できない人たちが何をしたらいいかがすぐわかったと思います。

なぜ私たちが最優秀展示賞をとることができたのでしょうか。私が考えるには、自分のやらなければいけないことが明確化していたからだと思います。例えば、展示準備中、私たちがホワイトボードに今日やらなければいけないことのリストを作りました。それを見て、なかなか準備に参加できない人たちが何をしたらいいかがすぐわかったと思います。

最優秀ステージ

私たちダンス部は、校内ステージとダンス部三年生で参加させて頂いたプチ後夜祭で最優秀ステージの賞を頂くことができました。昨年とはまた違ったステージを表現したかったので、音源や衣装、マスクをつけているとき表情などを工夫しました。この社会情勢の中、ステージで披露させていたたく場を用意してく

私たちダンス部は、校内ステージとダンス部三年生で参加させて頂いたプチ後夜祭で最優秀ステージの賞を頂くことができました。昨年とはまた違ったステージを表現したかったので、音源や衣装、マスクをつけているとき表情などを工夫しました。この社会情勢の中、ステージで披露させていたたく場を用意してく

最優秀有志展示

個々の興味のある分野をどこに突き詰めて伸ばしていくことを基本理念としていた。今年度の文化祭も多種多様な作品を展示しました。Unreal Engine、Unity、Scratch、Python3.0を用いた自作ゲーム、DTM (Desktop

個々の興味のある分野をどこに突き詰めて伸ばしていくことを基本理念としていた。今年度の文化祭も多種多様な作品を展示しました。Unreal Engine、Unity、Scratch、Python3.0を用いた自作ゲーム、DTM (Desktop

新会長挨拶



二年D組 松下 和央

新副会長挨拶



二年H組 木曾 朱都

年間、「生徒の生徒による生徒のための学生会」という方針で頑張りたいと思います。生徒が安心して調和のうちに夢と希望をもって学校生活を送れるようにサポートするのが学生会の使命であり役目です。従って常に生徒の意見や考えや思いを受け入れる機関として学生会の存在があるのです。ゆえに、その役目を果たすために生徒の皆さんのご意見を直接聞かせていただく学校づくりを頑張りたいと思います。

年間、「生徒の生徒による生徒のための学生会」という方針で頑張りたいと思います。生徒が安心して調和のうちに夢と希望をもって学校生活を送れるようにサポートするのが学生会の使命であり役目です。従って常に生徒の意見や考えや思いを受け入れる機関として学生会の存在があるのです。ゆえに、その役目を果たすために生徒の皆さんのご意見を直接聞かせていただく学校づくりを頑張りたいと思います。

年間、「生徒の生徒による生徒のための学生会」という方針で頑張りたいと思います。生徒が安心して調和のうちに夢と希望をもって学校生活を送れるようにサポートするのが学生会の使命であり役目です。従って常に生徒の意見や考えや思いを受け入れる機関として学生会の存在があるのです。ゆえに、その役目を果たすために生徒の皆さんのご意見を直接聞かせていただく学校づくりを頑張りたいと思います。

最優秀映画

三年D組

私達のクラスは、バラエティの技術も受賞できた要因の一つだと思います。非常に時間が足りない中での撮影でしたが、小島先生を含めクラス全体が協力してくれたことで非常にユニモア溢れる作品に仕上がりました。

スポーツ大会

今年もコロナ禍の中での開催ということで、感染対策に留意しつつ、リレー、サッカー、バレーボール、eスポーツ(大乱闘スマッシュブラザーズ)の四種目が行われました。クラス全員で参加・応援して楽しむことを目的として、タイムスケジュールを工夫し、一部の種目は全校生徒へのアンケートも行って選定しました。中でもリレーは初めての試みでした。しかもただのラリーではなく、コロナ禍にあ



今年もコロナ禍の中での開催ということで、感染対策に留意しつつ、リレー、サッカー、バレーボール、eスポーツ(大乱闘スマッシュブラザーズ)の四種目が行われました。クラス全員で参加・応援して楽しむことを目的として、タイムスケジュールを工夫し、一部の種目は全校生徒へのアンケートも行って選定しました。中でもリレーは初めての試みでした。しかもただのラリーではなく、コロナ禍にあ

関西テレビ「ちまたのジョーシキちゃん」出演

私は昨年十一月に関西テレビの「ちまたのジョーシキちゃん」というバラエティ番組に出演させていただきました。出演者には授業が始まる一時間前前に教室に集まってもらい、全員で構成やセリフを考えながら撮影しました。全員で意見を出し合っって映画を作り上げたことで完成度が上がったと思います。また、(クラス動画監督・文化祭会計 秋本 陽菜)

私は昨年十一月に関西テレビの「ちまたのジョーシキちゃん」というバラエティ番組に出演させていただきました。出演者には授業が始まる一時間前前に教室に集まってもらい、全員で構成やセリフを考えながら撮影しました。全員で意見を出し合っって映画を作り上げたことで完成度が上がったと思います。また、(クラス動画監督・文化祭会計 秋本 陽菜)



第十回城西大学スピーチコンテスト

私は中学二年生からスピーチを続けてきて、嬉しいことかもしれないが、嬉しいことかもしれない。当日は天候にも恵まれ、コロナ禍の鬱憤を晴らすかのようなみなさんの笑顔が印象的な一日でした。(学生会顧問 富永 浩史)

私は中学二年生からスピーチを続けてきて、嬉しいことかもしれないが、嬉しいことかもしれない。当日は天候にも恵まれ、コロナ禍の鬱憤を晴らすかのようなみなさんの笑顔が印象的な一日でした。(学生会顧問 富永 浩史)



私は中学二年生からスピーチを続けてきて、嬉しいことかもしれないが、嬉しいことかもしれない。当日は天候にも恵まれ、コロナ禍の鬱憤を晴らすかのようなみなさんの笑顔が印象的な一日でした。(学生会顧問 富永 浩史)

方が指導してくださる、見守ってくださったおかげです。

方が指導してくださる、見守ってくださったおかげです。本当にありがとうございます。これからもこの経験を糧に、もっともっと英語を勉強して国際社会で活躍できる人材になれるよう頑張ります。(ESS 三年 孝山 愛夢)



野球部

兵庫県準優勝

第一〇三回全国高等学校野球選手権兵庫大会において準優勝することができました。



ラグビー部

私たちは、日本一の工夫と拘りを持ったラグビーで花園出場を目指して日々努力してきました。県新人戦で優勝して出場した近畿大会は、あと一勝のところで残念ながら全県選抜大会出場を逃しました。

ダンス部

私達は二〇二二年度、日本高校ダンス部選手権DANC ESTADIUM 夏の公式全国大会 全国決勝大会において、初戦は相生高校を相手に四〇、三回戦は県立伊丹高校を相手に四一で勝ちました。四回戦は強豪の滝川第二高校で、とても気持ちが入った状態で試合に臨みましたが、一からのPK戦で敗れました。選手権でも総体に続いて全国大会出場を目指していましたが、この一年間で最も良い試合が出来ました。今までご声援を有難うございました。来年度のサッカー部もどうぞよろしくお願い致します。

テニス部

私達は去年の団体戦でベスト四まで進むことができ、個人戦では過去最高の十四人が一度に県大会本戦に上がるといふ快挙を成し遂げました。普段の練習は厳しいですが、全員、真面目に練習をこなし、次の大会で勝つことを目指して練習しています。

アメリカンフットボール部

この三年生の代は一年次に経験した「一点差」の敗北、二年次に経験した「残り一秒」の敗北となった試合のどちらにも深い関わりを持った選手がいた。春の県大会では県二位で関西大会に出場するも関西大会では初戦で敗退、秋季大会の県決勝でも負けるなど「敗戦」を数多く経験しましたが、啓明戦からのチームの成長は著しく、全国大会に入って強豪の大産大附属高、箕面自由学園高との激戦を制し、想像もしていなかった景色を見ることができました。皆様感謝いたします。

男子バレーボール部

我々は三年生が引退し、二年生十一人一年生十三人で顧問の福嶋先生、豊嶋先生、前先生、そして外部コーチである岩本さんの指導の下新チームとして五月から日々練習に取り組みしてきました。十一月に行われた秋季リーグ戦では宝塚西高校にセットカウンティングと昇格することができました。現在は、春に行われる春季リーグ戦、総体予選に向けて日々練習に取り組んでいます。

サッカー部

十月十七日から開催された兵庫県高等学校選手権大会において、初戦は相生高校を相手に四〇、三回戦は県立伊丹高校を相手に四一で勝ちました。四回戦は強豪の滝川第二高校で、とても気持ちが入った状態で試合に臨みましたが、一からのPK戦で敗れました。選手権でも総体に続いて全国大会出場を目指していましたが、この一年間で最も良い試合が出来ました。今までご声援を有難うございました。来年度のサッカー部もどうぞよろしくお願い致します。

卓球部

昨夏発足した新チームはMVP (Memorable Victory Pleasure) をモットーにしています。特にVとPの両立が大切だと考えていますのでコロナ禍でもぶれることはありません。目標は次の県大会を勝ち抜いて近畿大会に出場することです。短い練習時間を最大限に生かす効果的な練習メニューの構築とそれを生かす部員一人一人の意識とたゆまぬ努力で乗り切ります。きっと何物にも変え難いMが残るでしょう。

水泳部

水泳部県ジュニア大会結果
一〇〇M平泳ぎ武本航志 一位
二〇〇M個メ馬場冬真 七位
一〇〇M自由橋本夏菜恵 二位
二〇〇M個メ田淵涼華 九位
四〇〇Mリレー 八位
四〇〇Mメドレーリレー 五位

女子バレーボール部

私たちは六月から現在のチームで活動しています。新人大会阪神予選ではリーグ戦で惜しくも負けた相手にデューンに持ち込む接戦でした。一月からは外部指導員の方が来て下さり基礎から見直し、春季リーグ戦で昇格するという目標に向けて練習に励んでいます。

女子バスケットボール部

十月に行われたウィンターカップ県予選は、健闘したものの残念ながら一回戦で敗れ、新チーム体制となりました。新人戦では惜しくも県大会に出場することができませんでしたが、これらの試合での課題を徹底的に練習し、総体に向けてチーム一丸となり練習に励んでいます。新チームでは礼儀と思いやりを大切にしています。コロナ禍で練習が思うようにできない時期もありましたが、工夫を重ねていくことを精一杯頑張っています。

ゴルフ部

今年度は個々の活動が中心で終了しますが個人登録でゴルフ部は活動しています。三年間を終えて関わっていただいた方に感謝があります。三年藤原 サマージュニアクラシック 西日本ブロック地区大会二位 東横インジュニアゴルフ オープン地区大会優勝 関西ジュニア決勝大会出場 三年高谷 Inaba Golf 大会九位 関西ジュニア決勝大会出場 二年川崎 兵庫ジュニア

男子バスケットボール部

私達は十月に行われた全国高等学校バスケットボール選手権大会兵庫県予選において、二回戦で北須磨高校、三回戦で尼崎双星高校に勝利し、準々決勝では昨年県一位の報徳学園と対戦しました。報徳戦では試合開始直後から大接戦でしたが、最終一点差で悔しくも敗れ兵庫県ベスト八という結果となりました。全日程は感染症対策により無観客試合となりましたが、各方面から沢山の温かい応援をいただき誠にありがとうございました。

女子バレーボール部

私たちは六月から現在のチームで活動しています。新人大会阪神予選ではリーグ戦で惜しくも負けた相手にデューンに持ち込む接戦でした。一月からは外部指導員の方が来て下さり基礎から見直し、春季リーグ戦で昇格するという目標に向けて練習に励んでいます。

女子バスケットボール部

十月に行われたウィンターカップ県予選は、健闘したものの残念ながら一回戦で敗れ、新チーム体制となりました。新人戦では惜しくも県大会に出場することができませんでしたが、これらの試合での課題を徹底的に練習し、総体に向けてチーム一丸となり練習に励んでいます。新チームでは礼儀と思いやりを大切にしています。コロナ禍で練習が思うようにできない時期もありましたが、工夫を重ねていくことを精一杯頑張っています。

剣道部

我々は二学期より新チームに変わり、九月の阪神新人大会で男子団体が優勝、女子団体が準優勝、男子個人では二年井関が優勝、二年竹が準優勝、女子個人では二年國方優勝、女子個人では二年國方が三位になりました。十一月の県新人大会では、男子団体が準々決勝で育英に敗れベスト八、女子団体が準々決勝でゴルフ選手権三位 関西ジュニア決勝大会出場 関西ジュニア決勝大会出場 決勝ラウンド進出

陸上競技部

阪神地区高校駅伝大会で男女ともに六位となりました。男子は規定通り、女子は県内の大会で実績を残しました。他校の記録を比した+aとして県大会への出場を決めました。兵庫駅伝大会では男子十九位(福地、平井、大島、沖川島、佐伯、有吉、女子十八位(滝井、浜田、入江、坪井、北内)となりました。女子は、県駅伝初出場となりチーム全体の士気が高まりました。短距離や投擲種目を含めた来シーズンには大会が開かれることを信じて、頑張っています。

柔道部

僕たち柔道部は、二〇二一年に新たに一年生男子九人女子七人が加わり、二年生男子八人女子二人三年生男子十一人マネージャー二年生共一入ずつと合計三十九人で部活動をしました。今年度は新人部員に女子部員がとて多く、以前とは少し違う練習風景でしたが、コロナ禍で思うように練習が出来ませんでした。そういつた状況の中でも今でも練習を考えた短い時間でできる練習などを集中して部活動ができました。

吹奏楽部

私達は「雲外蒼天」をスローガンに、二年一年の三十三名で活動しています。今年度の吹奏楽コンクールでは西阪神地区大会で金賞、続く兵庫県大会では銀賞を受賞しました。また、十二月に先日ささやかながらファミリーコンサート(定期演奏会)を開催しました。今年度も難しい状況下でしたが多くのステージに出演させて頂いたことに感謝いたします。

サビスリーダーズ

今年度はアメフト部の春季大会の応援から活動が始まりました。野球部の夏季大会・秋季大会の応援、アメフト部の秋季大会の応援、文化祭などに出演できました。野球の夏季大会では県大会の決勝戦まで

ESS部

今年度は一年二年(留学生を含む)三年の計三十二人で活動し、主にオンラインの大会で実績を残しました。他校の記録を比した+aとして県大会への出場を決めました。兵庫駅伝大会では男子十九位(福地、平井、大島、沖川島、佐伯、有吉、女子十八位(滝井、浜田、入江、坪井、北内)となりました。女子は、県駅伝初出場となりチーム全体の士気が高まりました。短距離や投擲種目を含めた来シーズンには大会が開かれることを信じて、頑張っています。

吹奏楽部

私達は「雲外蒼天」をスローガンに、二年一年の三十三名で活動しています。今年度の吹奏楽コンクールでは西阪神地区大会で金賞、続く兵庫県大会では銀賞を受賞しました。また、十二月に先日ささやかながらファミリーコンサート(定期演奏会)を開催しました。今年度も難しい状況下でしたが多くのステージに出演させて頂いたことに感謝いたします。

吹奏楽部

私達は「雲外蒼天」をスローガンに、二年一年の三十三名で活動しています。今年度の吹奏楽コンクールでは西阪神地区大会で金賞、続く兵庫県大会では銀賞を受賞しました。また、十二月に先日ささやかながらファミリーコンサート(定期演奏会)を開催しました。今年度も難しい状況下でしたが多くのステージに出演させて頂いたことに感謝いたします。

吹奏楽部

私達は「雲外蒼天」をスローガンに、二年一年の三十三名で活動しています。今年度の吹奏楽コンクールでは西阪神地区大会で金賞、続く兵庫県大会では銀賞を受賞しました。また、十二月に先日ささやかながらファミリーコンサート(定期演奏会)を開催しました。今年度も難しい状況下でしたが多くのステージに出演させて頂いたことに感謝いたします。

宗教部

今年度は各学年四人ずつの計十二名で礼拝の司会や祈りの役割を担い、主に学内の宗教行事の務めを果たすことができました。コロナの制約もあり、学外で様々な活動の実践ができなかったことが悔やまれましたが、チャペルのクリスマスコンテストで二位、一年竹村は神戸日米協会合唱大会最終選考会で県三位、エッセイコンテストや絵本翻訳にも挑戦し、今はプレゼンテーションやレシターションコンテストに力を注いでいます。

吹奏楽部

私達は「雲外蒼天」をスローガンに、二年一年の三十三名で活動しています。今年度の吹奏楽コンクールでは西阪神地区大会で金賞、続く兵庫県大会では銀賞を受賞しました。また、十二月に先日ささやかながらファミリーコンサート(定期演奏会)を開催しました。今年度も難しい状況下でしたが多くのステージに出演させて頂いたことに感謝いたします。

吹奏楽部

私達は「雲外蒼天」をスローガンに、二年一年の三十三名で活動しています。今年度の吹奏楽コンクールでは西阪神地区大会で金賞、続く兵庫県大会では銀賞を受賞しました。また、十二月に先日ささやかながらファミリーコンサート(定期演奏会)を開催しました。今年度も難しい状況下でしたが多くのステージに出演させて頂いたことに感謝いたします。

吹奏楽部

私達は「雲外蒼天」をスローガンに、二年一年の三十三名で活動しています。今年度の吹奏楽コンクールでは西阪神地区大会で金賞、続く兵庫県大会では銀賞を受賞しました。また、十二月に先日ささやかながらファミリーコンサート(定期演奏会)を開催しました。今年度も難しい状況下でしたが多くのステージに出演させて頂いたことに感謝いたします。

理科部

今年度はシマドジョウというドジョウの仲間について研究を行い、兵庫県高等学校総合文化祭自然科学部門にて発表しました。その結果、生物分野最優秀賞を取り、来年度の全国大会への出場を決めました。また、高等部文化祭では、自然災害についての展示がと、昨年研究したプライニクを再現する実験を行いました。現在は来年度の全国大会に向け、シマドジョウの染色体観察にチャレンジしており、よい発表ができるよう努力したいと思っています。

吹奏楽部

私達は「雲外蒼天」をスローガンに、二年一年の三十三名で活動しています。今年度の吹奏楽コンクールでは西阪神地区大会で金賞、続く兵庫県大会では銀賞を受賞しました。また、十二月に先日ささやかながらファミリーコンサート(定期演奏会)を開催しました。今年度も難しい状況下でしたが多くのステージに出演させて頂いたことに感謝いたします。

吹奏楽部

私達は「雲外蒼天」をスローガンに、二年一年の三十三名で活動しています。今年度の吹奏楽コンクールでは西阪神地区大会で金賞、続く兵庫県大会では銀賞を受賞しました。また、十二月に先日ささやかながらファミリーコンサート(定期演奏会)を開催しました。今年度も難しい状況下でしたが多くのステージに出演させて頂いたことに感謝いたします。

吹奏楽部

私達は「雲外蒼天」をスローガンに、二年一年の三十三名で活動しています。今年度の吹奏楽コンクールでは西阪神地区大会で金賞、続く兵庫県大会では銀賞を受賞しました。また、十二月に先日ささやかながらファミリーコンサート(定期演奏会)を開催しました。今年度も難しい状況下でしたが多くのステージに出演させて頂いたことに感謝いたします。

理科部

今年度はシマドジョウというドジョウの仲間について研究を行い、兵庫県高等学校総合文化祭自然科学部門にて発表しました。その結果、生物分野最優秀賞を取り、来年度の全国大会への出場を決めました。また、高等部文化祭では、自然災害についての展示がと、昨年研究したプライニクを再現する実験を行いました。現在は来年度の全国大会に向け、シマドジョウの染色体観察にチャレンジしており、よい発表ができるよう努力したいと思っています。

吹奏楽部

私達は「雲外蒼天」をスローガンに、二年一年の三十三名で活動しています。今年度の吹奏楽コンクールでは西阪神地区大会で金賞、続く兵庫県大会では銀賞を受賞しました。また、十二月に先日ささやかながらファミリーコンサート(定期演奏会)を開催しました。今年度も難しい状況下でしたが多くのステージに出演させて頂いたことに感謝いたします。

吹奏楽部

私達は「雲外蒼天」をスローガンに、二年一年の三十三名で活動しています。今年度の吹奏楽コンクールでは西阪神地区大会で金賞、続く兵庫県大会では銀賞を受賞しました。また、十二月に先日ささやかながらファミリーコンサート(定期演奏会)を開催しました。今年度も難しい状況下でしたが多くのステージに出演させて頂いたことに感謝いたします。

吹奏楽部

私達は「雲外蒼天」をスローガンに、二年一年の三十三名で活動しています。今年度の吹奏楽コンクールでは西阪神地区大会で金賞、続く兵庫県大会では銀賞を受賞しました。また、十二月に先日ささやかながらファミリーコンサート(定期演奏会)を開催しました。今年度も難しい状況下でしたが多くのステージに出演させて頂いたことに感謝いたします。

社会部

今年度はシマドジョウというドジョウの仲間について研究を行い、兵庫県高等学校総合文化祭自然科学部門にて発表しました。その結果、生物分野最優秀賞を取り、来年度の全国大会への出場を決めました。また、高等部文化祭では、自然災害についての展示がと、昨年研究したプライニクを再現する実験を行いました。現在は来年度の全国大会に向け、シマドジョウの染色体観察にチャレンジしており、よい発表ができるよう努力したいと思っています。

吹奏楽部

私達は「雲外蒼天」をスローガンに、二年一年の三十三名で活動しています。今年度の吹奏楽コンクールでは西阪神地区大会で金賞、続く兵庫県大会では銀賞を受賞しました。また、十二月に先日ささやかながらファミリーコンサート(定期演奏会)を開催しました。今年度も難しい状況下でしたが多くのステージに出演させて頂いたことに感謝いたします。

吹奏楽部

私達は「雲外蒼天」をスローガンに、二年一年の三十三名で活動しています。今年度の吹奏楽コンクールでは西阪神地区大会で金賞、続く兵庫県大会では銀賞を受賞しました。また、十二月に先日ささやかながらファミリーコンサート(定期演奏会)を開催しました。今年度も難しい状況下でしたが多くのステージに出演させて頂いたことに感謝いたします。

吹奏楽部

私達は「雲外蒼天」をスローガンに、二年一年の三十三名で活動しています。今年度の吹奏楽コンクールでは西阪神地区大会で金賞、続く兵庫県大会では銀賞を受賞しました。また、十二月に先日ささやかながらファミリーコンサート(定期演奏会)を開催しました。今年度も難しい状況下でしたが多くのステージに出演させて頂いたことに感謝いたします。

美術部

我々は文化祭とコンクール出品を目標に作品制作に取り組みました。文化祭では共同制作の制作やこだわりの立体看板を作ったり、当日は多くの方にお越しいただきました。共同制作は十二月のクリスマス

吹奏楽部

私達は「雲外蒼天」をスローガンに、二年一年の三十三名で活動しています。今年度の吹奏楽コンクールでは西阪神地区大会で金賞、続く兵庫県大会では銀賞を受賞しました。また、十二月に先日ささやかながらファミリーコンサート(定期演奏会)を開催しました。今年度も難しい状況下でしたが多くのステージに出演させて頂いたことに感謝いたします。

吹奏楽部

私達は「雲外蒼天」をスローガンに、二年一年の三十三名で活動しています。今年度の吹奏楽コンクールでは西阪神地区大会で金賞、続く兵庫県大会では銀賞を受賞しました。また、十二月に先日ささやかながらファミリーコンサート(定期演奏会)を開催しました。今年度も難しい状況下でしたが多くのステージに出演させて頂いたことに感謝いたします。

吹奏楽部

私達は「雲外蒼天」をスローガンに、二年一年の三十三名で活動しています。今年度の吹奏楽コンクールでは西阪神地区大会で金賞、続く兵庫県大会では銀賞を受賞しました。また、十二月に先日ささやかながらファミリーコンサート(定期演奏会)を開催しました。今年度も難しい状況下でしたが多くのステージに出演させて頂いたことに感謝いたします。



吹奏楽部の練習風景。楽器を演奏する生徒たちの姿が写っています。

コロナへの対応

三学期初めから国内でもオミクロン株の市中感染増加の動きにあわせ、高等部でも感染者が確認されるようになりまし。家庭内感染と思われけるケースのほか、特に屋内で活動する運動部で複数の感染者が確認され、高等部としては感染拡大を食い止めるため、一月十七日から十九日までの三日間、一、二年生を学年閉鎖としましたが、その期間中も感染者数が増加し、延べ五十人規模に達したため、一、二年生の学年閉鎖を二日間延長しました。大学推薦に向け特別プログラムを実施していた三年生はクラブとの関わりが少なく感染者数も少なかったことから、同期間のプログラムを予定通り続行しましたが、プログラム実施中に体調不良者が増え、二十四日を学年閉鎖としました。

三年A組 橋本 十織子



私は夏休み、大阪大学主催のFuture Global Leaders Camp (FGLC) というプログラムに参加しました。全員の高校生を対象に国際的な課題の解決に向けた議論やプレゼンテーションを行うセミナーです。一年生の時にグローバル探究BASOで世界の「格差」について学んだことがきっかけで参加してみようと思いましたが、初対面の高校生とグループを組み、多くの刺激を受けました。「格差・不平等はどうしていけないの?」という大阪大学の先生の言葉が印象に残っています。私のグループでは、教育格差は解決・是正しないといけないという前提で議論していました。しかし、どんな社会を実現

三年生

昨年度に引き続きコロナ禍に制約を受けた一年。大切なプログラムである「スキー旅行」や、その代替として企画した幻の遠足「金沢・高山・名古屋」・「伊勢・馬籠・名古屋」コースなど、思い出が沢山ありました。しかしそんな中でも三年生は可能性を振り、楽しみました。二期のスポーツ大会ではフィールド一杯に広がり、サッカー・クラス対抗リレーなどを通じて、友達との大切な触れ合いを深めました。続く文化祭でも企画の中心には必ず三年生がいて学校を引っ張る役割を果たしています。「不可能の反対は可能ではない、挑戦だ!」(ジャッキー・ロビンソン) この言葉のように新たなフィールドで目標達成に向けてチャレンジ精神を大いに発揮して頑張っていたのだと思います。

一年生

入学後の一年生にとって最初の大きな行事である「校外ホームルーム」が新型コロナウイルスの状況により中止となりそれに代わるものとして、ようやく十一月九日(火) U.S.Jへの遠足、十二月十四日(火)校内での「ソーシャル探究プログラム」を実施することができました。

一年生

十一月九日(火) 遠足実施。伊勢方面、和歌山アドベンチャーワールド、ナガシマスパランドと分散してそれぞれ楽しい一日を過ごしました。十二月八日(水)には近隣の自治体協力の下「地域探求課題フィールドワーク」を実施しました。自治体からは「清和源氏の魅力」を発信し、若者を呼び込むためのイベント企画(川西市)、「伊丹と体を「地球」と見立て、経済社会、環境のバランスの大切さ」を考えました。

遠足は初めての学年行事で、班ごとにパーク内を思う存分楽しんで親睦を深めました。また、クラス委員会企画で「U.S.Jお得意情報コンテンツ」を実施。最終的に優秀三クラスに豪華景品(ミニオングッズ)が贈られました。「ソーシャル探究プログラム」では、各クラスにファシリテーターが入り、そのリードのもとSDGsについて考える一日となりました。グループに分かれ、時間、お金などのカードを交換しながらミッションを達成していくというゲームでは、教室全

秋季宗教運動

十月十九日から二十一日に「コヘレトの言葉を説く」を主題に、高一は徳永大先生門戸聖書教会牧師、高二は井上智先生(宗教センター宗教主事)、高三は水野隆一先生(神学部教授)を講師として

退職される先生方

藤田 喜代志(国語科) 私は西宮で生まれ育ち、高校までは市内の公立校に通ってました。大学は、第一志望の関西学院大学文学部に入学しました。一年次の基礎ゼミに、高等部出身者が一人いました。スマートで如才なく、バックグランドの相違を痛感したものです。大学在学中、高等部という学校は遠い存在でした。まして、自分が将来高等部に勤務するとは夢にも思いませんでした。勤めてから分かったのは、建学の精神を堅持する高中部こそが関西学院の核たるべきであるということでした。



石森 圭一(理科)

伊丹市の公立中学校から転勤して母校の関西学院高等部の教員となつて三十八年が経ち、この春退職することになりました。関西学院創立一〇〇周年の時、今の中学部グラウンドにあった思い出深い校舎から現在の高等部校舎へ移転し、立派な礼拝堂と最新の校舎・教室群に新たな決意が芽生えたのが昨日のことのように感じます。一九九五年一月

クリスマスマス礼拝

ピアノ奏者の中田美穂さんが奏でられた素敵な音色と、灯された四本のろうそくがチャペルを包み込み、イエス様の御降誕をお祝いすることができました。「永遠を思う心」について語られた松隈先生のメッセージにとても共感できました。苦難の中にも神様の愛があり、与えられた苦境の壁を前向きに捉え乗り越え、いつも恵みを与えてくださる神様に感謝しながらクリスマスの時を覚えることができました。

上杉 佑子(社会科)

この度四年間勤めた高等部を離れることになりました。出身校でもなく、何のコンネクションもない勤務校で不安や戸惑いもありましたが、思いやりのある生徒さんや、保護者の方々、他の教職員やスタッフの方々、他のお力があったこと、多岐にわたる行事が中止や延期となる中、文化祭は無事に開催することができて本当に良かったと感じました。普段の授業では見ない、行事に取り組み、全力で楽しむ皆さんの姿を見るのができて良かったです。高等部生の素晴らしいところは自身で考え、率先して物事を進める力があるところだと思います。指示する前に動いたり、指示なくても作業を進めていたり、授業や行事を通して感心するポイントが多々ありました。これからも高等部生のパワーを発揮し、より良い学校になることを楽しみにしております。

福永 吉伸(読書科)



高等部では、担任をさせて頂いた二年間、特に印象に残っています。コロナの影響が出始めてからは、それまでの経験が全く通用しない日々

中川 みなみ(保健体育科)

高等部では二年間勤務させて頂きました。コロナ禍で大変な状況下でしたが、困難な時にこそ見える関西学院高等部の底力に圧倒された二年間でもありました。私が最も印象に残っているのは文化祭



和田 公太(英語科)

今年度の四月に高等部に着任したばかりなのですが、三ヶ月いっばいで高等部を去ることになりました。今教えている二年生が卒業するのを見届けたいです。もともと皆さんと一緒に過ごしたいのが本音です。私が伝えたかったことは、全てPractical Englishの授業に注ぎ込んだつもりです。一学期ではPride of Japan Projectを通じて世界に誇れるべき日本の文化について学びました。英語がどれだけの堪能でも発信する内容がなければ意味がありません。

の連続でよい思い出です。スキー旅行等の行事や、学校生活そのものに様々な制約が出始めてからも、その時々状況に応じて臨機応変に対応し、常に明るく快活で前向きに学校生活を送っている姿に、生徒の皆さんからは、いつも元気をもらっていることができてきました。高等部では自由でのびのびと個性を発揮できる環境が整ったののおかげで今日の退職の日を迎えられたと思っています。私の教員としての生活はこれからも続きますが、高等部での生徒の皆さんとの関わり合いはおそらく忘れなれないと思います。生徒の皆さんに最後のメッセージを送ります。皆さんはとも思われた環境に身を置いていきます。そこには成長できるポイントがあるはず。自分の見ている世界なんてまだまだ狭い!。この考え方を大切に、私も成長していきたいと思っています。皆さんのこれからが幸せいっぱいでありたいです。